

| | | | | | |
|------|--------------|-------|--------|-------|----|
| 科目群 | 科目区分等 | 科 目 名 | 担当教員名 | 対象学年次 | 学期 |
| 共通基礎 | 2 単位 教養科目 | 総合演習 | 澤田 まゆみ | 1 年次 | 秋 |

| | |
|----------------|---|
| 授業のキーワード | 考える・話す・書く |
| 授業の概要 | 新書を元に、様々な視点から各自の考えを述べ合い、他者との意見交換を行います。自らの視点や考えを相手にわかりやすく話したり、文章にする能力を身につけます。 |
| 期待される学習成果 (目標) | 1. 様々な視点から物事を考え、自らの意見をわかりやすく話すことができる。 2. 時事問題について自らの意見をわかりやすい文章で伝えることができる。 |

授 業 展 開

| | テーマ | 内 容 | | テーマ | 内 容 |
|---------------------------|------------|-------------------------|---------|-------------|---|
| 第 1 講 | オリエンテーション | 授業の進め方、取り組み方について | 第 9 講 | 考える、話す (8) | 第 15～16 話 |
| 第 2 講 | 考える、話す (1) | 第 1～2 話 | 第 10 講 | 考える、話す (9) | 第 17～18 話 |
| 第 3 講 | 考える、話す (2) | 第 3～4 話 | 第 11 講 | 発表 (1) | 第 1～18 話の中から各自一つを選び、自身の考えをまとめ、レジюмеを作って発表します。 |
| 第 4 講 | 考える、話す (3) | 第 5～6 話 | 第 12 講 | 発表 (2) | 第 1～18 話の中から各自一つを選び、自身の考えをまとめ、レジюмеを作って発表します。 |
| 第 5 講 | 考える、話す (4) | 第 7～8 話 | 第 13 講 | 発表 (3) | 第 1～18 話の中から各自一つを選び、自身の考えをまとめ、レジюмеを作って発表します。 |
| 第 6 講 | 考える、話す (5) | 第 9～10 話 | 第 14 講 | 時 事 問 題 (1) | 社会で起こっている事象をとりあげ、それについてのディスカッションを行います。 |
| 第 7 講 | 考える、話す (6) | 第 11～12 話 | 第 15 講 | 時 事 問 題 (2) | 社会で起こっている事象をとりあげ、それについてのディスカッションを行います。 |
| 第 8 講 | 考える、話す (7) | 第 13～14 話 | 定期試験 | | レポート |
| 評価方法 | | 授業への取組み 50%、発表・レポート 50% | | | |
| 使用する教科書 (必ず購入してください) | | | 参 考 文 献 | | |
| 曾野綾子『人間にとって成熟とは何か』(幻冬舎新書) | | | | | |